

議題 第5次ちば中小企業元気戦略の素案について

《元気戦略において講ずべき施策》

【1 成長の後押し】

- ・創業は事業が軌道に乗るまでに半年～1年かかると言われていることから、事業を軌道に乗せるための支援を行うことが重要。
- ・起業家交流会は、若手起業家の成功談や失敗談など様々な話が聞けることや、起業家同士のネットワークが構築できることなどから非常に良い機会だが、県内で4か所でしか実施されていないため、全県で展開できると良い。
- ・身の回りに起業家が少ないのではなく、起業家からビジネスの話聞く機会が少ないことが、起業・創業に当たっての課題。起業家から話を聞く機会を設けることが必要。
- ・中小企業は、常に時代の変化に適合し、新しいことにチャレンジしていくことや、一つの事業が駄目になっても他の事業に転換できるような選択肢を揃えておくことが求められており、事業再構築は重要な視点。
- ・千葉県の強みは、東京に近接した立地優位性や一定程度の市場規模、バランスの取れた産業集積などにより、幅広い業種でビジネスチャンスがあること。「まずは千葉県で起業してみませんか」というようなコンセプトを打ち出せば、千葉県らしい起業・創業や産学官連携につながるのではないか。

【2 経営基盤の強化】

- ・中小企業が経営基盤の強化を図るためには、専門家による支援が有効。事業環境が大きく変化中、今後は、変化に対応するだけの経験を持ち合わせた専門家が必要となる。
- ・企業経営には、ヒト・モノ・カネの経営資源が重要であり、特に資金繰りは事業を継続するために避けて通れない問題。
- ・事業承継は喫緊の課題。中小企業を取り巻く環境は大きく変化し、非常に厳しい状況である一方で、企業は目の前の経営に精一杯で事業承継の取組が後回しになっている印象がある。中小企業の相談相手である税理士などを通じて事業承継の取組を促すことが効果的。
- ・事業承継は重要な視点。後継者の育成や技術の伝承も含めて、中小企業の現状に即した手厚い支援が必要。
- ・前戦略からの転換点は、感染症や台風等の災害の影響を大きく受けた中で、様々なリスクが顕在化したこと。中小企業は、こうしたリスクへの対応が求められており、リスクという視点は重要。

【3 人材の確保・育成・定着】

- ・技術者確保のためには、大学や高専、工業高校、商業高校、職業訓練校等を通じて中小企業の魅力を学生に伝えていくことが有効。学生は、中小企業でも優良企業であれば就職したいと考えているため、中小企業の情報が学生にしっかり伝わる仕組みが構築できると良い。
- ・技術革新により、デジタル技術は高度化しているため、中小企業はこうした動きに乗り遅れないようにデジタル技術等のリスクリングに取り組む必要がある。
- ・技術者の社会的地位の向上も重要な視点。海外ではマイスター制度を活用し、技術者の地位の向上が図られている。千葉県にも、「ものづくりマイスター制度」があるため、こうした制度を有効に活用していくことが必要。

【4 地域活性化】

- ・地域活性化において、自然環境やアミューズメントなどの観光資源の豊かさも、千葉県らしさの1つであるため、積極的に活用すべき。
- ・成田空港のポテンシャルを観光振興に活用すべき。千葉県の豊かな自然環境などの強みを活かして、海外の需要を取り込むとともに、企業においても、多言語を話せる外国人材を採用するなどインバウンドへの対応を進めていく必要がある。
- ・千葉県には、面白い情報や魅力が満載である一方で、知られていないことが課題。顕在化している魅力と潜在的な魅力を合わせた情報発信が効果的。
- ・商店街活性化のためには具体的な進め方の検討が必要。例えば、空き店舗の活用が進まない背景には、オーナーの貸し渋りの問題などがあり、根本的な解決策が必要。
- ・地域課題解決等の地域づくりへの取組は、中小企業のビジネスチャンスにつながることから、地元の中小企業と自治体との連携がうまくいくような場づくりが必要。

《元気戦略を推進するための方法》

- ・知られていないものは存在していないのと同じ。支援策等の情報発信を強化するとともに、いかに支援機関のプレゼンスを発揮していくかが課題。
- ・情報発信において、SNS等の活用は効果的だが、経営者の高齢化を踏まえ、紙ベースの周知も必要。金融機関との連携やマスコミの活用など様々な手法で取り組むことが重要。
- ・情報発信においてキャッチコピーは重要。例えば、デジタル庁の掲げる「誰一人取り残さない」デジタル化のようなキャッチーなフレーズにより、人の心に響かせるべき。
- ・PDCAサイクルを機能させ、支援策の効果が十分に発揮できているか確認し、適宜見直しを行うことは重要であり、これにより実効性のある戦略となる。

【委員】

1	中山 健	共立女子大学	学識経験者
2	小谷 健一郎	千葉商科大学	学識経験者
3	浅野 美希 (欠席)	食育ネット株式会社	中小企業者
4	小倉 秀一 (欠席)	株式会社いまでや	中小企業者
5	熊谷 正喜	ハイテック精工株式会社	中小企業者
6	菰岡 翼	有限会社松山商事	中小企業者
7	董 麗萍 (欠席)	株式会社ロボット応用ジャパン	中小企業者
8	能登 昭博	合同会社NIS	中小企業者
9	三浦 慎	株式会社三英	中小企業者
10	浅井 鉄夫	特定非営利活動法人ITCちば経営応援隊	支援機関
11	近藤 利砂	千葉県中小企業診断士協会	支援機関
12	菅野 宗孝	千葉県信用保証協会	支援機関